

## 第63期事業報告書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。

(平成25年6月1日より平成26年5月31日まで)

### 1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

○「自然科学書協会講演会2013」を開催した(文部科学省後援)。

- ・日時：平成25年7月21日(日)13時30分～16時40分
- ・会場：日本出版クラブ会館
- ・講師：芳沢光雄氏(桜美林大学リベラルアーツ学群教授)  
演題「生きた題材で数学を楽しもう」
- ・講師：山根一眞氏(ノンフィクション作家, 獨協大学特任教授)  
演題「地球温暖化と自然エネルギー—環業革命の現在—」
- ・聴講者112名

### 2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

○文字・活字文化推進機構等の活動に協調し, 日本書籍出版協会をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。

○「自然科学書フェア2013」を2回開催した。

①・会場：紀伊國屋書店札幌本店

- ・期日：平成25年6月1日～6月30日
- ・テーマ：自然科学の力・科学立国日本の再生
- ・参加社数：47社
- ・出展点数：879点
- ・出品冊数：1,368冊
- ・売上：493冊 1,439,193円

②・会場：三省堂書店名古屋高島屋店

- ・期日：平成25年9月6日～10月4日
- ・テーマ：科学と医学・技術図書フェア
- ・参加社数：81社(共催団体含む)
- ・出展点数：3,578点
- ・出品冊数：5,781冊
- ・売上：1,388冊 3,409,614円

○「第20回東京国際ブックフェア」(TIBF2013)を例年通り後援し, 協会単独ブースで展開した。

本年も東日本大震災と福島原発事故からの復興支援の特設コーナーを設け, 「震災復興関連書」(エネルギー関連, 防災, 耐震建築, 都市計画, 土壌・水質

汚染，メンタルケア，救急医療等）の展示を行った。また，5,000円以上の購入者に，抽選で500円の図書カードをプレゼントした。

- ・期日：平成25年7月3日（水）～7月6日（土）
- ・会場：東京ビッグサイト
- ・参加社数：60社
- ・出品冊数：2,539冊
- ・総売上げ冊数：415冊

○海外のブックフェアに出展し，当協会会員社出版物の海外への普及を図った。

- ・「第20回北京国際図書展示会」(BIBF2013)  
前年同様の2ブースに，全点面陳で展示した。出品点数は，18社・194点。
- ・期日：2013年8月28日（水）～9月1日（日）
- ・会場：中国新国際展覽センター
- ・「第65回フランクフルトブックフェア」(FBF2013)  
出版文化国際交流会の当協会・出版梓会・大学出版部協会の共同ブースに，当協会会員社18社 33点を出品した。
- ・期日：2013年10月9日（水）～13日（日）
- ・会場：フランクフルトメッセ

○当協会の英文会員名簿並びに和文会員名簿を，ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに配布し，協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供した。

### 3. 著作権・著作隣接権等の普及と啓発

- 電子媒体複製の問題は避けて通れない急務の課題となっている。そのため，出版者著作権管理機構（JCOPY）の運営委員会を通じ，適切な対応を進めて，新しい使用料規程の作成に協力した。
- 日本複製権センター（JRRC）の活動にJCOPYを通じて協力し，特に使用料規程の改訂に努力した。
- 米国の集中的著作権管理機構（CCC）が日本法人を設立する予定で，その情報収集に努めた。

### 4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

- 平成26年度文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員各社から当該表彰候補を募り，推薦候補者を決定した。その後，当該会員社より取下げの要請があったため，今年度は当協会からの推薦は辞退した。

### 5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

- 東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「第16回出版・印刷人の集い」に出版梓会と共に協賛し，講演会を開催した。

- ・日時：平成 25 年 11 月 21 日（木） 16：30～18：00
- ・会場：日本出版会館
- ・講師：中町英樹氏（一般社団法人 日本書籍出版協会 専務理事）  
演題：「いまこそ出版にマーケティングの発想を」

○会員研修会として国立国会図書館参観を平成 25 年 11 月 14 日（木）と平成 26 年 5 月 28 日（水）に開催した。参加者はそれぞれ 17 社 24 名であった。

## 6. 機関紙・図書等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を年 4 回発行した（平成 25 年 7 月，11 月，平成 26 年 1 月，4 月）。

- ・主な記事は次の通り。

理事会の動向や決定の周知／各専門委員会の活動報告／出版界の主要団体代表者からの「自然科学書協会に期待すること」／自然科学各分野の著名人によるエッセイ／講演会の要約／国際ブックフェアの報告など

- ・自然科学知識の普及，当協会の活動の告知，会員増強などのために，会報を日本出版クラブ会館ロビーなどで展示配布のほか，各関連団体へも送付した。平成 25 年 7 月号は東京国際ブックフェア会場（7 月 3 日～6 日，東京ビッグサイト）にて一般向けに 900 部配布した。

○ホームページを常に最新の状態にして，外部への情報発信を行った。

- ・協会の概要を掲載し，常に更新した。
- ・会報の PDF 版を掲載した。
- ・「自然科学書協会講演会 2013」「同 2014」の案内を掲載した。
- ・「東京国際ブックフェア 2013」「同 2014」の案内を掲載した。
- ・「自然科学書フェア 2013」「同 2014」とそれに関連したイベントの案内を掲載した。
- ・当協会が主催もしくは関係した行事の内容を当協会のホームページの「ニュース・お知らせ」に掲載し，広く告知を図った。

## 7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○当協会の再販制度に対する基本姿勢は，過去 2 回にわたる廃止反対声明で明らかのようにあくまでも「維持」を原則としている。しかし，流通改善・弾力運用を含む取組みが強く求められていることを受け，「東京国際ブックフェア 2013」の会場において，出展会員社による一部割引販売などを行った。

○平成 26 年 4 月 1 日の消費税率変更に際し，経過措置のより出版の実態に即した運用に向けて書協その他関連団体と意見調整を行った。その結果，雑誌にかかる 4 月 1 日以降の消費税課金について，書店店頭において実務的に対応し得る経過措置とすることが可能となった。

○平成 27 年 10 月に予定されている消費税税率変更に向けて，出版物にかかる軽減税

率適用についての検討を開始した。軽減税率適用のメリット・デメリットについて、特に専門書の立場から慎重に検討することとした。

- 出版業界で行う諸事業（全出版人大会の開催，出版平和堂の活動など）に協力した。
  - ・平成 26 年 5 月 14 日に，第 53 回全出版人大会がホテルニューオータニで開催され受付業務などの協力を行った。
  - ・平成 25 年 10 月 5 日に，出版平和堂第 45 回出版功労者顕彰会が執り行われ，当協会は出版平和堂維持団体として運営に協力した。
- 当協会の活動状況を業界紙などに積極的に働きかけて報道依頼し，当協会の活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 7 月  
一般社団法人 自然科学書協会